

平成 25 年 8 月 11 日

「私たちが小樽商大&緑丘会を応援する理由」

(緑丘会札幌支部 暑気払いに参加して)

H13 卒 菊地 圭児

緑丘会札幌支部の暑気払いに参加させていただきました。まずは、幹事として会を切り盛りしてくださった先輩諸氏の皆さまに深くお礼を申し上げます。本当に楽しかったです。

中村屋旅館での暑気払い～怪物ランドでの 3 次会までは、八十島先輩が詳細な報告書をアップされていますので、私は小西先輩・安田先輩と 3 人で過ごした 4 次会（非公式ですが）でのやり取りをご報告させていただきます。

4 次会は「元祖美唄やきとり 福よし」にて行われました。その中で、昨今の緑丘会、そして今後のあるべき方向性についての話題が出まして、僭越ながら私が感じたことを語らせていただきました。

今までの緑丘会のイメージ、そしてセールスポイントと言えば、

- 世代の近い卒業生同士が親睦を深められる
- 青春を懐かしく回顧できる
- 卒業生同志の人脈・情報ネットワークを築くことが出来る

これだと思います。商大出身者に共通の記憶を辿ったり、かつて苦楽を共にした人々との語らいは何年経っても楽しいものです。しかし、現役生や 20 代・30 代の若い OB・OG には、その価値を実感しづらいケースもあるように思います。

「見ず知らずの大先輩が多いみたいだし、参加して何かいい事あるのかな？」

という感覚です。このままだと、緑丘会と距離を置く人がどんどん増えてしまいます。

今回の盛況を目の当たりにし、今後の緑丘会に必要なコンセプトとして痛切に感じたのは、

■ 緑丘会とは、小樽商大にまつわる交流サークルでありファンクラブなんだ
拙いコピーですが、これに尽きるように思います。

なぜこんな話をしているかと言いますと、今回の暑気払いにおける先輩・後輩の皆さんとの会話の中で「会社以外での『人のつながり』に価値を認めている」人がいかに多いか、そして、そこにこそ緑丘会が存在感を発揮できるヒントがあるのでは、と感じたからです。

例えば、現役生と卒業生との接点。今の大学生は、私が入学した H9 年頃と比較して、親御さんからの仕送り額が平均 12 万円強→平均 7 万円弱と激減したほか、下宿生の約 10%が「仕送りゼロ」での学生生活を送っていると言われていています。アルバイトに追われ、勉強時間もなかなか確保できず、「とても部活動への入部どころではない」という学生にとっては、卒業生との接点がかかり制限されてしまいます。

また、企業における社員の個人情報保護・機密情報流出防止が求められる現代においては、（業種にもよると思いますが）せつかく現役生が就職活動のため OB・OG 訪問を試みても、「そのような名前の社員が在籍しているかどうかも含め一切お答えできない」と、何ともしれない対応をする企業もあると聞きます。せつかく大学の就職支援センター等で先輩の名前を見つけても、それだけでは先輩に接触しきれないケースが出てきているのです。

さらに、社会という荒野に飛び出した若き卒業生も、勤務先で信頼のおける先輩・上司に
出会えないケースがあります。転職やリストラによる退職で、職場の年齢構成がいびつで
あったり、全社的に業務多忙で後輩をサポートする余裕が無かったり、という状況です。

私は、こうした状況にこそ、現役生から大先輩まで様々な人が集える緑丘会の存在価値が
あると考えます。世代や立場を超えたつながりを構築出来る場所、という価値訴求です。

一方、今回暑気払いに駆け付けた皆さんは、広義の「商大を影ながら応援しているファン」
でもあるなと感じました。単に「商大在学中 or 商大卒である」という事実だけでは、正直、
見ず知らずの人同士であれほどの盛り上がりにはならないと思います。

プロ野球・北海道日本ハムファイターズとファンとの関係性で説明するなら、

- ファンは、チームと自分が繋がっているという状況に、強い一体感や満足感を感じる
(例えば、ファンクラブに加入し会費を払う、過去の歴史や名選手に敬意を払う、など)
- チームの話題やニュースは、ファン同士の一体感や愛着心に深く関係する
(たとえチームが弱くても、関係なく盛り上げられるようになってゆく)
- ファン同士のコミュニケーションは同志の域を超え、新たな知人として繋がってゆく
(互いの仕事や人生の相談相手になったり、励ましたり、祝福したり)

こういう状況があります。

もうお分かりかと思いますが「チーム」を「商大」または「緑丘会」に置き換えて考える
と、ファンを増やす、という概念での活動展開・広報告知によって、今後の緑丘会がより
強く結束したものになっていけるのではないかと考えます。仲間と出会い、語る事で一
体感を味わえる。「私たちは、小樽商大&緑丘会を応援するファンなのだ」という価値訴求
です。

・・・拙文ですが、4次会ではこのような語らいをさせていただきました。かなり夜更けの
時間帯となりましたが、お話が出来る機会をいただけたことに感謝です。

暑気払いでお会いした若き皆さま。人と会うことは財産です。Facebook など便利なツール
も存分に駆使して、誰にも臆せずドンドンと人脈を広げてください。将来どこでつなが
りが出てくるかわかりません。今回のような雰囲気我也会今後増えていくと思いますので、
ぜひまたお会いしましょう！

そして先輩の皆さま。緑丘会の活動が継続・拡大していけるよう、微力ながら私も協力さ
せていただきます。今後とも、よろしく願いいたします。